

フリーター、ニートの人数の推移

いわゆるフリーターの人数を見ると、10年前と比べると約2倍の人数となっているが、平成17年は前年に比べ13万人減少し、2年連続の減少となった。

また、15～34歳の非労働力人口のうち、通学も家事もしていないニート状態に有る者は、4年連続で64万人で推移しているが、年齢別の内訳をみると25歳以上の者の比率が増加傾向にある。

